

ザ・小津!!

35mm film



「秋刀魚の味」1962年

11月23日(土) 上映作品

麦秋

1951年/松竹(大船)/白黒/スタンダード/モノラル(濃淡型)/125分/監督:小津安二郎

東京物語

1953年/松竹(大船)/白黒/スタンダード/モノラル/136分/監督:小津安二郎

11月24日(日) 上映作品

彼岸花

1958年/松竹(大船)/カラー/スタンダード/モノラル/118分/監督:小津安二郎

秋刀魚の味

1962年/松竹(大船)/カラー/スタンダード/モノラル/113分/監督:小津安二郎



映画上映会
ホームページ
QRコード

2024年11月23日(土)・24日(日)

各日10:00上映開始(受付・開場9:30)

※1日2本上映(上映日時は裏面をご覧ください。)

1日券:[前売券・当日券] 1,000円(税、手数料込み)

※各日1,000円で2本ずつ鑑賞できます。

※全席自由。



11月23日 (土) 上映開始 10:00 (開場9:30) ※終了後、準備のため一旦退場していただきます。

麦秋 1951年/松竹(大船)/白黒/スタンダード/モノラル(濃淡型)/125分/監督:小津安二郎

監督:小津安二郎/脚本:小津安二郎、野田高梧/撮影:厚田雄春/照明:高下逸男/録音:妹尾芳三郎/音楽:伊藤宜二
キャスト:原節子、笠智衆、淡島千景、三宅邦子、菅井一郎、東山千栄子、杉村春子、二本柳寛、井川邦子、高橋豊子 他
娘の結婚と、父母の郷里への隠棲でゆるやかに崩壊していく大家族、その別れの過程が小津監督独特の豊かなユーモアと緻密なスタイルで、あたかも自然のように描かれている点に特徴がある。これは戦後に脚本家、野田高梧とのコンビを復活させ、以後遺作まで二人の共同作業を続けさせることとなった『晩春』(1949)の主題をより広く展開したものであり、個々の人物が多彩になったぶん、作品世界の陰影が豊かになっていると言えるだろう。



11月23日 (土) 上映開始 13:00 (開場12:30)

東京物語 1953年/松竹(大船)/白黒/スタンダード/モノラル/136分/監督:小津安二郎

監督:小津安二郎/脚本:小津安二郎、野田高梧/撮影:厚田雄春/照明:高下逸男/録音:妹尾芳三郎/音楽:伊藤宜二
キャスト:笠智衆、東山千栄子、原節子、杉村春子、香川京子、山村聡、三宅邦子、大坂志郎、東野英治郎、中村伸朗 他
尾道に住む老夫婦が、医者や美容師の長女が住む東京に出かける。幸福そうな家庭も経済的には苦しいのである。東京で暮らす昔の同僚も親子関係に不満をもち。子供たちが計画した熱海への旅行も疲れただけ、唯一の救いは戦地で行方不明となった次男の妻・紀子との一時であった。家族の変化と喪失が大きなテーマになっているものの、終盤にかけて原節子演じる紀子と香川京子演じる京子の紐帯の萌芽が描かれ、未来に向けて開かれた作品になっている点も見逃せない。



11月24日 (日) 上映開始 10:00 (開場9:30) ※終了後、準備のため一旦退場していただきます。

彼岸花 1958年/松竹(大船)/カラー/スタンダード/モノラル/118分/監督:小津安二郎

原作:里見淳/監督:小津安二郎/脚本:小津安二郎、野田高梧/撮影:厚田雄春/照明:青松明/録音:妹尾芳三郎
キャスト:笠智衆、東山千栄子、原節子、杉村春子、香川京子、山村聡、三宅邦子、大坂志郎、東野英治郎、中村伸朗 他
娘が勝手に決めた結婚相手に腹を立てる頑固な父親の姿をユーモラスに描く、小津安二郎監督初めてのカラー作品。小道具や着物ひとつひとつに気を配り、赤が映えるアグファ・カラーをネガフィルムに用いて、色をはぶき、色があっても色がないような、つまりは「色即是空、空即是色」の心持ちで撮影に臨んだと語っている。ドラマチックな展開を極力排除し、さりげない会話のやりとりの中に人間のエゴを垣間みせるこの監督特有の手法が、あてやかな色彩とともに、見るものの心に染み込んでくる。



11月24日 (日) 上映開始 13:00 (開場12:30)

秋刀魚の味 1962年/松竹(大船)/カラー/スタンダード/モノラル/113分/監督:小津安二郎

監督:小津安二郎/脚本:小津安二郎、野田高梧/撮影:厚田雄春/照明:石渡健蔵/録音:妹尾芳三郎/音楽:斎藤高順
キャスト:岩下志麻、笠智衆、佐田啓二、岡田茉莉子、三上真一郎、中村伸朗、三宅邦子、加東大介、岸田今日子 他
戦後、小津の復活を知らしめた『晩春』(1949、笠智衆・原節子主演)以来、初老の父と独身の娘の関係がこの作品でも踏襲されている。身の周りの世話を娘に頼り、娘の行く末を考へもせずにいた父が、旧制中学時代の恩師と中年の娘がしがらみラーメン屋を営んでいる光景を目にし、人生の孤独を感じつつ娘を嫁がせるのだった。恩師の娘を演じた杉村春子は、演技指導の厳しかった小津ですら何も注文をつけなかったといわれているが、無言の立ち居振る舞いはこの作品のテーマを見事に表現している。

■チケット購入方法

1日券:[前売券・当日券] 1,000円(税、手数料込み)

※各日1,000円で2本ずつ鑑賞できます。

※全席自由。



こちらのQRコードから
購入ページへアクセスで
きます。

【前売券】Web チケット購入サイト「カンフェティ」

<https://www.confetti-web.com/@/AMOA-eiga2024-2>

WEB予約は、上映当日の8:00までの受け付けとなります。尚、会員登録(無料)が必要です。
お支払いは、クレジットカードまたはカンフェティ指定のコンビニ払い(払込期限1週間)となります。
チケットはカンフェティ指定のコンビニ店頭レジにてお受け取りください。(発券期限上映当日9:00)

【当日券】

当日シアター前受付で購入(現金払のみ)

【電話又はメールでの置き置き】

TEL.017-783-3000(受付時間・平日9:00~17:00)

E-Mail: eiga@aomori-museum.jp

お支払いは、当日受付での現金払いのみとなります。

【ご注意】

- ・ご自身の都合によるご購入後の変更・取消はできません。
- ・上映中の撮影及び録音は禁止とさせていただきます。
- ・車椅子で観覧される方は、ご予約の前に事務局へお知らせください。

■アクセス

- ・青森市営バス: 青森駅前6番バス停から三内丸山遺跡行き「県立美術館前」下車(所要時間約20分)
- ・ルートバスねぶたん号: 新青森駅東口バス停から「県立美術館前」下車(所要時間約10分)
- ・新青森駅から車で約10分、青森駅から車で約20分、青森空港から車で約20分

【本事業およびチケットに関するお問い合わせ】

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会 事務局 TEL: 017-783-3000(受付時間・平日9:00~17:00)

E-Mail: eiga@aomori-museum.jp <https://www.aomori-museum.jp/schedule/15155/>

